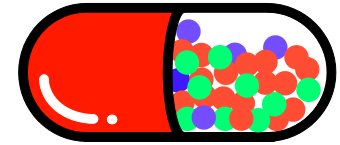


『教えて！治験のはなし』

シリーズその< 2 >
~ プラセボって何？ ~



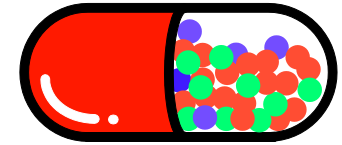


『プラセボってなに？』



- 日本では『偽薬』や『二セ薬』などと、あまり良くないイメージで表現されています。しかし、プラセボの原語であるラテン語の本来の意味は“ I shall please”
『満足させる・喜ばせる』です。見た目はお薬そのものですが、中身はお薬の有効成分が入っていないものです。



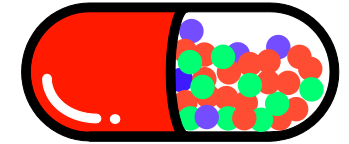


『 どうしてプラセボが必要なの？ 』

- ご存知の通り、人間の '心' と '体' は不思議な関係でつながりあっています。

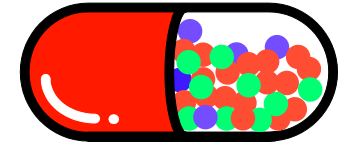
とってもいい薬みたいだから、すぐに病気もよくなるだろうなあ...





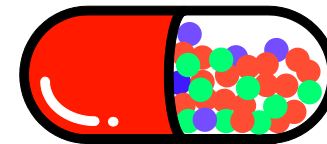
- たとえば、プラセボを飲んだとしても「治る!」と思い込むことによって、症状が良くなることも珍しくありません。





- 治験は候補となるお薬の効果を科学的に証明しなければなりません。
- そのためには、プラセボを飲んだ人達と、有効成分の入ったお薬（実薬）を飲んだ人達の効果をしっかりと比較しなくてはならないのです。





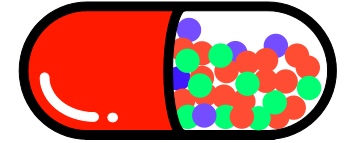
『プラセボとの比較試験』



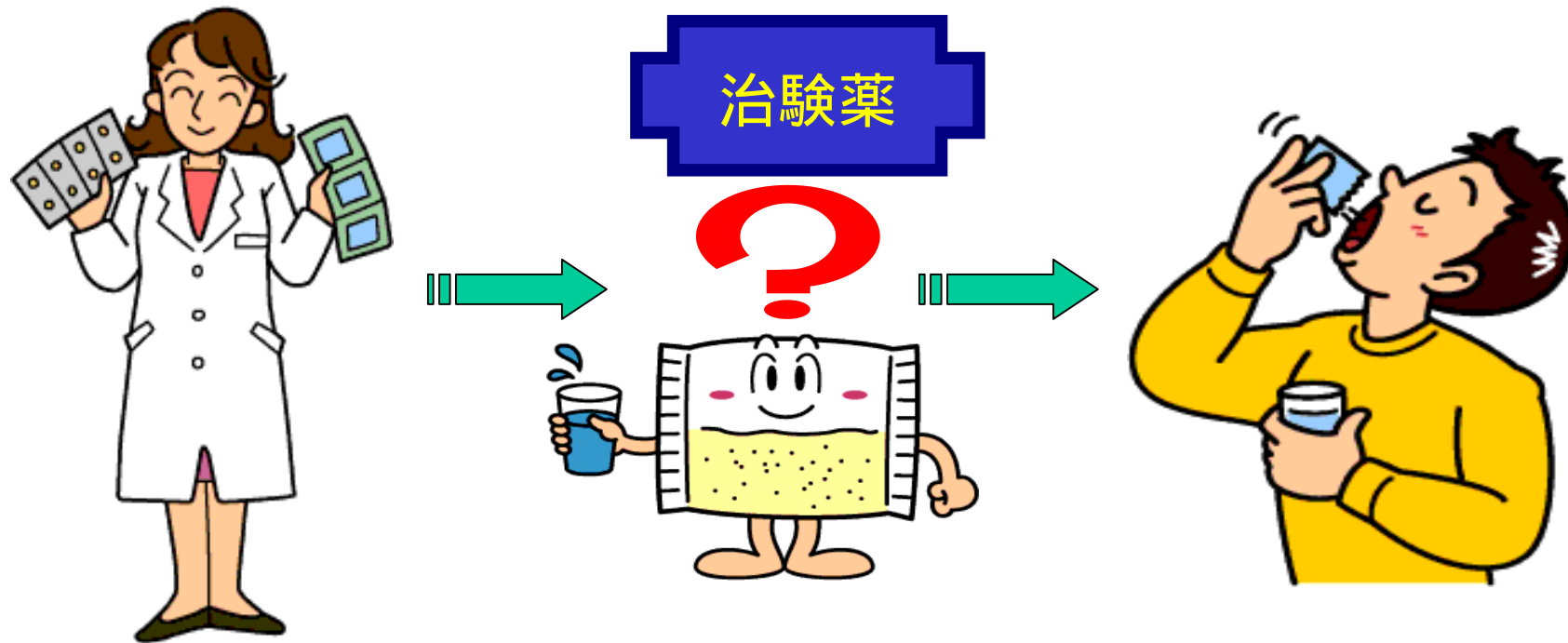
プラセボを
飲んだグループ



実薬を飲んだ
グループ

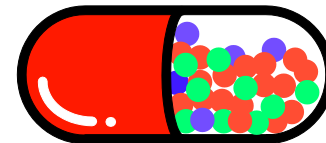


『どっちがプラセボ??』

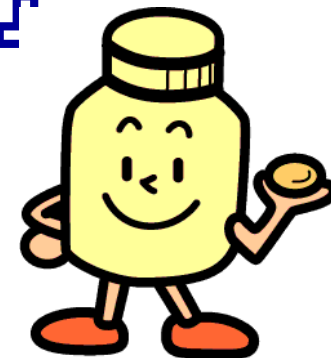


プラセボを取り入れた試験の場合、患者さんに飲んでいただく治験薬はプラセボなのか実薬なのかは、**医師、患者さん、そして治験コーディネーターも分かりません。**

『どっちのお薬を飲むの？』



《お薬の割り付け方法》



登録センターで偏りのないよう均等にわけられます

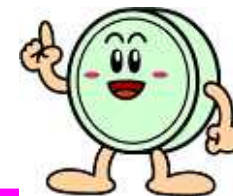
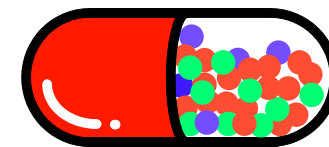
医師がどちらかに決める事はできません...

プラセボを飲む
グループ



実薬を飲む
グループ

『プラセボを含む治験に参加された患者さまへ』



どちらのお薬群に入っていたのかお知りになりたい方。

担当治験コーディネーターにお申し出ただければ、結果が分かり次第お知らせすることは可能です。（ただし、全国の当該治験が全て終了してからの報告となり、数年後という場合もある旨あらかじめご了承ください）

